

4. 人も地域も頑張る力 ①市民活動の推進

評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之		
令和4年度 実行宣言			
<p>地域づくり活動が高いレベルで平準化するよう住民自治協議会を支援するとともに、コミュニティセンター化について理解を得られるよう丁寧に説明し、コミュニティセンター化をさらに進めます。あわせて、地域が使いやすい施設となるよう、モデル地区の検証を行いながら、コミュニティセンターの制度を構築します。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
<p>松阪市コミュニティセンター条例を制定し、各住民自治協議会へ松阪市コミュニティセンターの指定管理者制度についての説明会を行いました。また、モデル地区に関心のある住民自治協議会には要望に応じて説明に向きました。令和5年度から指定管理者となるモデル地区1か所と令和6年度の指定管理に向けて2か所のセンターと公民館が決まりました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>地区市民センターや地区公民館などの公共施設については、地域づくりの拠点施設としての役割を持つコミュニティセンターとして、住民自治協議会が持続的に運営し、地域に応じた利活用ができるよう丁寧に説明し、コミュニティセンター化をさらに進めます。あわせて、地域が使いやすい施設となるよう、モデル地区の検証を行いながら、コミュニティセンターの制度を構築します。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	住民自治協議会(住民協議会)の認知度				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	67.5 %	71.5 %	75.5 %	80.0 %	
	実績	63.5 %	— %	66.5 %	69.4 %	—	
	評価	—	—	D	D	—	
	今後の方針	地域づくりにおける住民自治協議会と市の協働を推進し、活動の広報の充実を図ります。					
数値目標 ②	項目	地域づくり活動への参加率				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	26.2 %	30.7 %	35.2 %	40.0 %	
	実績	21.7 %	— %	48.4 %	48.5 %	—	
	評価	—	—	S	S	—	
	今後の方針	地域づくりにおける住民自治協議会と市の協働を推進し、活動の支援と充実を図ります。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	地域づくり連携グループ「げんきアップ松阪」登録数				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	42 団体	45 団体	47 団体	50 団体	
	実績	40 団体	42 団体	43 団体	45 団体	—	
	評価	—	S	C	B	—	
	今後の方針	市民活動が活性化するよう、支援の仕組みなどについて検討を進めます。					

関係所属
地域づくり連携課、嬉野地域振興局、三雲地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局

4. 人も地域も頑張る力 ②中山間地域の振興

評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之		
令和4年度 実行宣言			
住民自治協議会と協働し空家バンクの登録を推進するとともに、サテライトオフィスや田舎暮らしに関する情報を積極的に発信し、移住人口や関係人口の創出を図ります。また、交流人口の増加を図るため、新たな取組であるトレイルランニング大会の開催など、地域資源を生かしたイベントの実現に向けて地域とともに取組を進めます。			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
空家バンクの成約者数目標を上回る成約を達成し、23世帯47人の移住につなげることができました。香肌峡ホームページを大幅リニューアルし香肌地域のさまざまな魅力を発信しました。また、新たな取組であるまつさか香肌峡トレイルラン試走会を開催しました。参加者が45人あり、次回本格開催に向けて意見収集を行いました。飯南・飯高管内施設の宿泊者数においても目標を達成することができました。			
↓			
令和5年度 実行宣言			
中山間地域の地域資源を活用した取組を推進し、移住人口や関係人口の創出を図ります。その中でも、移住希望者を含む地域住民の雇用機会の創出及び安定を図るため、過疎地域の事業所が組合員となり、その組合員に人材を派遣する「特定地域づくり事業協同組合」の設立をめざします。また、交流人口の増加を図るため、まつさか香肌峡トレイルランの本格実施に向けて地域とともに取組を進めます。			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	空家バンク成約世帯数(累計)				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	65 世帯	73 世帯	81 世帯	90 世帯	
	実績	57 世帯	72 世帯	88 世帯	111 世帯	—	
	評価	—	S	S	S	—	
	今後の方針	物件の確保と情報発信の充実によって子育て世代を中心とする移住者の増加を図ります。					
数値目標 ②	項目	飯南・飯高管内施設の宿泊者数				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	17,221 人	17,314 人	19,800 人	20,200 人	
	実績	17,128 人	16,715 人	19,461 人	23,014 人	—	
	評価	—	E	S	S	—	
	今後の方針	地域資源の活用と情報発信の拡充によって交流人口の増加を図ります。					
数値目標 ③	項目	生活支援の取組				目標種別	↑
	評価者	地域振興担当理事 蒲原 智之					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	3 地区	5 地区	7 地区	10 地区	
	実績	0 地区	4 地区	5 地区	6 地区	—	
	評価	—	S	S	B	—	
	今後の方針	誰もが中山間地域で快適に暮らしていくことができる必要な支援について検討し、事業化を図ります。					

関係所属
地域づくり連携課、嬉野地域振興局、飯南地域振興局、飯高地域振興局

4. 人も地域も頑張る力 ③社会教育の推進

評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜		
令和4年度 実行宣言			
<p>社会情勢の変化に応じた生涯学習や青少年健全育成を推進し、夢やいきがいのある自己肯定感溢れる豊かな人生を育みます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>・Wi-Fi整備など公民館施設のICT化を図り、デジタルデバイド対策に資するスマホ教室や自宅からリモート参加できる子育て支援講座の実施など、現代社会の課題解決に向けた取組を推進することができました。 ・コミュニティセンター化を推進するため、指定管理受託の意向を持つ地区公民館との調整や公民館予算の活動交付金化を進めることができました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>・リニューアルオープンする松阪公民館の機能強化を図るとともに、オープニングイベントや各種講座の開催など、市民の期待に応えられる取組を進めます。 ・市内5つの拠点公民館については、コミュニティセンター移行を見据えた各公民館部会の活動の核となる取組を推進します。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	地域開放型図書館の利用数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	5,000 人	5,000 人	5,000 人	5,000 人	
	実績	4,647 人	4,464 人	3,946 人	4,015 人	—	
	評価	—	E	E	E	—	
今後の方針	市図書館で借りた図書を地域開放型図書館で返却できる仕組みを検討し、遠隔地サービスとしての利便性を高めていきます。						
数値目標 ②	項目	公民館の子育てに関連する講座数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	250 講座	250 講座	250 講座	250 講座	
	実績	239 講座	247 講座	243 講座	364 講座	—	
	評価	—	B	D	S	—	
今後の方針	子育てに関連する講座の実施について、全公民館で取り組んできた結果、目標を達成することができました。今後も子育て支援に関する取組を推進していきます。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	青少年の悩み相談件数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	50 件	50 件	50 件	50 件	
	実績	33 件	4 件	118 件	105 件	—	
	評価	—	E	S	S	—	
	今後の方針	面談・電話・ツイッターによる相談体制を構築しましたが、昨年度はツイッターによる相談実績はありませんでした。相談窓口として認知されるような取組を工夫していきます。					
数値目標 ④	項目	図書館電子書籍貸出数				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	3,000 冊	3,000 冊	3,000 冊	3,000 冊	
	実績	2,056 冊	2,827 冊	3,303 冊	3,298 冊	—	
	評価	—	B	S	S	—	
	今後の方針	電子書籍の貸出数を増やすため、魅力のある書籍の確保に努めていきます。					

関係所属	
生涯学習課	

4. 人も地域も頑張る力 ④文化の振興

評価者	産業文化部長 川村 浩稔		
令和4年度 実行宣言			
<p>リニューアルした松浦武四郎記念館をはじめ、博物館や文化ホールにおいて安全安心に文化芸術や文化財、並びに郷土の偉人の功績に触れる機会を提供し、シビックプライドの醸成に努めます。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>リニューアルオープンした松浦武四郎記念館においては、所有する文化財を効果的に活用し、松浦武四郎の偉業と功績を多くの来館者に伝える各種事業を開催することで大幅に入館者増となりました。 文化ホールにおいては事業に対する満足度が高い結果となり、また、嬉野ふるさと会館の改修、文化財センター収蔵庫の新築等の施設整備も確実に行い、安全安心な環境を提供できる状況となりました。 文化財にかかる保存整備関連においては専門家からの意見聴取、市民への周知、関連公官庁との調整などを確実に行うこととおおむね目標値を達成でき、郷土資料室では目標値以上に市民の学び意欲に対し十分な機会を提供することができました。 一方、目標値をコロナ前の入館者数等との比較としている施策の進捗状況においては目標達成とはなりませんでした。令和3年度と比較するとおおむね増加傾向となっています。これらは各文化関連施設において開催した多様な企画展示や催し物により、文化芸術や文化財、郷土の偉人の功績に触れる機会の充実が図れたものと考えます。 全体としては回復基調にある市民の芸術文化活動ニーズやシビックプライドの醸成におおむね対応できたものと考え、評価は星3つとしました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>市民文化会館大規模改修事業等により、安全安心に文化芸術に触れることができる環境整備をめざすとともに、文化財センター収蔵庫の運用開始により指定文化財等を適切に保存します。また、小津安二郎生誕120年、三井越後屋創業350年事業においては公民連携の手法を取り入れ多彩な事業を展開することで、関係者との信頼関係をより深めるとともに市民の郷土の歴史文化に対する理解度向上につなげていきます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	文化財センター・歴史民俗資料館・松浦武四郎記念館の一日当たりの入館者数(3館合計入館者数/3館合計開館日数)				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	平成30年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	104 人	106 人	108 人	110 人	
	実績	101 人	46 人	82 人	86 人	—	
	評価	—	E	E	E	—	
今後の方針	市民が郷土の文化財に愛着や誇りが持てるよう、魅力のある企画展等を開催します。また、観光等他分野との連携を図ります。						

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ②	項目	松阪市民文化会館・コミュニティ文化センター・嬉野ふるさと会館の一日当たりの利用率 (3館合計利用日数/3館合計開館日数)				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	80.0 %	81.5 %	83.0 %	85.0 %	
	実績	78.5 %	46.1 %	76.6 %	64.1 %	—	
	評価	—	E	E	E	—	
今後の方針	市民文化会館の大規模改修等、安全安心に利用できる施設整備を進めるとともに、魅力のある自主事業等を開催します。						
数値目標 ③	項目	過去一年間に学校以外で文化財施設に一つ以上行ったことのある児童生徒の割合				目標種別	↑
	評価者	産業文化部長 川村 浩稔					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	児童 62 % 生徒 50 %	児童 66 % 生徒 53 %	児童 70 % 生徒 57 %	児童 75 % 生徒 60 %	
	実績	児童58 % 生徒46 %	児童 59 % 生徒 31 %	児童 57 % 生徒 57 %	児童 73 % 生徒 46 %	— —	
	評価	—	E	C	C	—	
今後の方針	これからの文化の担い手となる子どもが参加しやすい展示や講座等を開催します。						

関係所属
文化課

4. 人も地域も頑張る力 ⑤スポーツと連動したまちづくりの推進

評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜		
令和4年度 実行宣言			
<p>必要な感染症対策を行いながらスポーツ大会やイベントの開催等に取り組みます。特に、みえ松阪マラソンについては、第1回記念大会として、市民やランナーはもとより、ご支援いただいた協賛企業、大会運営にご協力いただく関係団体等の期待に応えるべく、安全安心で楽しい大会の実現をめざします。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆☆☆	
<p>・市長杯スポーツ大会を23種目中19種目で開催しました。 ・みえ松阪マラソンについては、昨年12月18日に初開催し、9,271人のエントリーがありました。またボランティアや沿道からの応援の方々を含め、約7万人が大会に関わり、約7.5億円の経済波及効果がありました。 ・松阪公園プール、嬉野体育センター及び飯南グラウンドのトイレ改修や中部台流水プールの槽内塗装及び更衣室ロッカー設備の更新などスポーツを行う環境づくりに取り組みました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>・スポーツをする、観る、支えるを通して”スポーツの持つチカラ”、”スポーツの魅力”の発信に全力で取り組み、市民の健康増進に寄与していきます。 ・みえ松阪マラソンについては、第1回大会の課題を踏まえ、ランナーをはじめ協賛企業、大会運営にご協力いただくボランティア、関係団体、応援いただく市民の皆さま等の満足度をさらに高める大会の実現をめざします。 ・スポーツ施設長寿命化計画の策定に着手するとともに、中部台運動公園の適正な管理体制について、一定の方向性を示していきます。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	気軽にスポーツを行うことができる環境づくりに対する満足度				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	3.05 /5	3.05 /5	3.08 /5	3.10 /5	
	実績	3.00 /5	— /5	2.98 /5	2.94 /5	—	
	評価	—	—	E	E	—	
	今後の方針	スポーツ大会やスポーツイベント等の情報発信の充実に取り組みます。					
数値目標 ②	項目	公共スポーツ施設を利用している市民の割合				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	12.0 %	15.0 %	18.0 %	20.0 %	
	実績	11.5 %	— %	10.3 %	9.9 %	—	
	評価	—	—	E	E	—	
	今後の方針	安全・安心にスポーツ活動を行うことができるように、引き続き各施設の環境整備に取り組みます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	「みえ松阪マラソン」に対するランナーからの総合評価				目標種別	↑
	評価者	教育長 中田 雅喜・教育委員会事務局長 刀根 和宜					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	65.0 点	70.0 点	80.0 点	90.0 点	
	実績	62.9 点	— 点	— 点	79.4 点	—	
	評価	—	—	—	A	—	
	今後の方針	大会運営上の課題を踏まえ、ランナー満足度の高い大会となるよう取組を進めていきます。					

関係所属
スポーツ課、清掃事業課

4. 人も地域も頑張る力 ⑥人権尊重・多様性社会の推進

評価者	環境生活部長 谷川 英次		
令和4年度 実行宣言			
<p>松阪市の人権施策の指針である「松阪市人権施策基本方針」の改定を行うとともに、多様性社会づくりのため男女共同参画、多文化共生など人権に関する啓発に取り組み、市民意識の高揚を図ります。</p>			
↓			
令和4年度 評価	☆評価	☆☆	
<p>「松阪市人権施策基本方針」改定のための基礎資料を得るため、「松阪市人権問題についての市民意識調査」を実施しました。啓発への取組は、コロナ対策を考慮しながらWeb配信、会館での講演会等、あらゆる方式で開催しました。</p>			
↓			
令和5年度 実行宣言			
<p>「松阪市人権問題についての市民意識調査」の調査結果をもとに、人権施策の指針である「松阪市人権施策基本方針」の改定を進めます。また、多様性社会づくりのため男女共同参画、多文化共生など人権に関する啓発に取り組み、市民意識の高揚を図ります。</p>			

施策の進捗状況							
数値目標 ①	項目	人権が尊重されている社会になっていると感じる市民の割合				目標種別	↑
	評価者	環境生活部長 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	70.0 %	75.0 %	80.0 %	85.0 %	
	実績	68.4 %	— %	52.5 %	49.0 %	—	
	評価	—	—	E	E	—	
	今後の方針	市民一人ひとりの人権が尊重され、あらゆる差別をなくすための行動を促すとともに、すべての人々が希望と誇りをもって社会参加できる地域社会に向けて啓発活動を実施していきます。					
数値目標 ②	項目	多言語による生活情報などの提供・支援件数				目標種別	↑
	評価者	環境生活部長 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	8,000 件	8,000 件	9,000 件	10,000 件	
	実績	7,724 件	5,590 件	6,588 件	5,054 件	—	
	評価	—	E	E	E	—	
	今後の方針	外国人住民に対し、通訳者を配置し母語による生活情報等の提供や説明、市窓口業務の支援を行い住民サービスの充実に努めます。					

第2章 各施策の「評価」と「実行宣言」

数値目標 ③	項目	家庭生活において男女の地位が平等になっていると思う市民の割合				目標種別	↑
	評価者	環境生活部長 谷川 英次					
	年度	令和元年度(基準)	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度(目標)	
	目標	—	31.0 %	33.0 %	34.0 %	35.0 %	
	実績	30.1 %	— %	28.2 %	16.8 %	—	
	評価	—	—	E	E	—	
今後の方針	家庭生活において、性別による固定的役割分担意識を見直すための意識啓発活動を実施していきます。						

関係所属
人権・多様性社会課